

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171200332		
法人名	有限会社 太陽		
事業所名	グループホーム ひまわりの郷		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字寄人1997-1		
自己評価作成日	令和7年5月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和7年7月16日	外部評価確定日	令和7年7月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様のご家族、知人、友人、近隣の住人の面会は自由です。又、個人個人に応じた介護の提供と理念の達成の為、日々、頑張っています。更に、看護師を多く配置しているため、利用者に異変や変化があった場合は必ずご家族様に連絡をし医療連携や行政との連携を迅速に行い利用者の苦痛の早期発見、改善をし家族が安心できるように寄り添いながら風通しの良い施設づくりを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所の周りには、住宅と田園風景が広がり閑静な立地であり、同社が運営する有料老人ホームも同地区にある。感染症対策により地域や家族との関係性は希薄となっているが、再構築を図るために行事を計画し参加を募る事を検討され、以前のように入居者の社会性を感じられる施設づくりに取り組まれている。接遇面や入居者の生活、人権を守ることに尽力され、残存機能を活かすだけでなく、能力を引き出すケアを目指し、その方らしい生活が継続できるように支援されている事業所である。

1/15

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に沿ってどの程度目標が達成できているのかを2か月に1回職員会議を行い、皆で可視化し課題をより一層達成できるように取り組みを継続しています。	理念に対して目標を立案し、目的を達成するために何をすべきなのか行動の指針を職員に示し評価をされている。2カ月後に会議で評価を実施し、PDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルを用いて事業所の成長を目指されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現在は、行政区長、民生委員、利用者ご家族との関係性を大切にしておりますが、近隣の住人との交流はなかなか難しい現状に直面しております。徐々に地域のお祭りや行事に参加し、挨拶や会話を通じて信頼と信用をして頂き地域の一員として認めて頂ければと考えています。	感染症対策の一環で、地域との交流は希薄になっているが、今後は再構築を検討されている。そのきっかけとして職員が地域のお祭りに参加し、交流を図られる予定である。入居者については協力医療機関と協議され、熱中症対策のため祭りには参加されないとのこと。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	当施設に入居する利用者のご家族様に、認知症に対する理解について看護師がしっかりと知識での説明を心がけています。以前は、看護学生も受け入れていましたが依頼があれば再度受け入れて将来の担い手の育成も出来ればと考えております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用料請求時にご家族様宛に運営推進会議の開催日時と参加のお願いを致しておりますが、ご家族の都合もあり皆様が参加される状況にはありません。何かあれば必ず連絡する体制は日頃から意識して取り組んでいます。又、毎月の利用料金請求時に月ごとの行事についてもお知らせしております。引き続き運営推進会議の案内をしてサービスの内容をより向上出来ればと考えております。	運営推進会は、全家族に案内を行い参加できるご家族に来所してもらっている。会議の議事録は、個人情報の観点により事務所で保管されているが、希望者は閲覧できるようになっている。事業所では気づかない点を参加者が提案し運営に活かされている。	

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鳥栖広域市町村圏組合介護保険課職員様、地域包括支援センター職員様と密に連絡を取りながら、発生したアクシデント事案、苦情処理事案を解決するための行動をとっております。積極的に市町村と連絡、報告、相談をし、質の高いグループホームづくりを目指していきます。	事故報告や成年後見人などについて行政へ相談し対応されている。また、鳥栖地区のグループホーム協議会の事務局として研修やイベントにも協力され市町と連携を図られている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	経営者が身体拘束は絶対に行わないという姿勢で、何が身体拘束なのか何故してはいけないのか等研修を通じてしっかり職員で研鑽しています。更には2ヶ月に1回身体拘束適正化委員会を実施し理解を促しています。	身体拘束ゼロを掲げ、拘束することで身体的リスクや尊厳を守れないことを事業所内に周知し、困難事例に関しては協力医療機関の精神科医と連携し対応をされている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法を理解するために研修を通じて職員に周知徹底をする。又、施設内で虐待などの事案がある場合は管理者、又は市町村に通報する義務があることを徹底しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通じて理解を深めています。成年後見制度については必要時に手続きをしたことがあり、何かあれば行政手続きのお手伝いが出来ればと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時しっかりと説明し理解して頂けるように努めています。又、説明不足や質問等があれば丁寧に説明していますし、これからも丁寧に説明していきます。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しておりますが現在のところ、投函されていません。第三者委員についても玄関に掲示しておりますが、何かあれば市町村にも相談して頂けると当施設の質の向上に繋がると考えております。貴重なご意見は家族の溜まりに溜まった不満だと考えておりますので、真摯に受け止め対応させていただきます。	契約時に相談窓口を説明し苦情対策を行っているが、家族からは多くの感謝の気持ちを伝えられる事が多く、日頃から細かな報告をすることで信頼関係の構築を図られている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝のミーティングや職員会議等で意見の聴取を行って皆で良い施設づくりをしています。去年より再開した法人本部である有限会社太陽での各事業所の業績や職員の意見や提案について代表者に具申し、結果を施設運営に反映しています。	働きやすい環境を整備するために疑問点については確認を行い、法に基づいた運営を心掛けられている。また、職員が研修に参加できるように調整されており、質の向上も目指されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準については取締役しか分かりません。管理者として職員が働きやすい環境を構築し、出来る限り時間外労働がないように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の機会を設けると共に個々の能力に応じ施設内研修や施設外研修(ZOOM含む)を行ってスキルアップに繋がっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度、鳥栖地区高齢者グループホーム事業者連絡協議会の事務局になりました。グループホーム協議会を通じてネットワークの構築や介護職員等基礎研修事業の委員として積極的に勉強会の議題に対して講師と共に学び、施設内で伝達研修し質の確保を図っていきます。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	基本姿勢は傾聴であり、自分の意見や考えは言わない、押し付けないことが精神科看護の基本です。要望、意見に沿って利用者、家族に寄り添っていく事がより良い関係作りになると考え実践しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	一番困っている事、苦痛になっている事を聞き出し、それを優先事項としてサービスを提供することを説明、同意を得て対応していきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一番困っている事、苦痛になっている事を聞き出し、それを優先事項としてサービスを提供することを説明、同意を得て対応していきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	近隣地区の方ばかりですので利用者同士話をされたり、その中に職員も一緒に溶け込んでいる状況を作っています。いわゆる家庭的な雰囲気づくりを築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には利用料支払い等毎月1回は施設に来所してもらい、短時間でも面会をしてもらったり、利用者に何かあった場合は必ず連絡するように努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	全ての利用者に対して利用者やご家族が安心できるよう、いつでも誰でも面会や外出、外泊が出来るように支援していきます。	面会や外出外泊に制限はなく、自由に対応することができる。近況報告を電話で行い、請求書には写真を同封するなど工夫をされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	近隣地区の方ばかりですので利用者同士話をされたりその中に職員も一緒に溶け込んでいる状況を作っています。いわゆる家庭的な雰囲気づくりを築いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者・ご家族から相談があれば必要に応じて対応します。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	様々な認知症の種類の利用者様が入所され年齢や生い立ち、生活歴、介護度もそれぞれ違います。超高齢化している当施設の利用者は意思疎通も困難になってきている方もいます。困っている事、痛い事の発言もありませんので看護、介護の両立で全身状態の管理をしながら利用者に必要な介護を適宜実践し利用者主体の生活をして頂いています。	傾聴を基本として、入居者や家族の意向を確認されている。残存機能を活かすだけでなく、能力を引き出す事を考え、その方らしい生活が継続できるように支援されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	書面やご家族の発言や利用者の発言から情報収集し利用者の全体像の把握に努めています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の中で出来ないことに対して介護し、出来る事は最大限能力が発揮できるように支援しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	当施設職員やご家族様に電話し担当者会議に出席して頂き、計画の立案や修正を行っております。出席して頂けない場合はあらかじめご家族の思いを拝聴し、ケアマネジャーが計画を作成し送りなどで情報共有しています。又、利用者、ご家族に説明し署名して頂いています。	課題分析や以前の生活がわかる暮らしのシート、転倒転落アセスメントスコアシートを活用し、その方に即した介護計画を作成されている。介護計画は、6か月ごとに更新され、本人や家族の意向を踏まえ、事業所で担当者会議やモニタリングにて計画が実践できているのか確認をされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態や介護の実践を毎日記録しています。特にインシデント、アクシデント時にはしっかりと記録するように心がけています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の状態に沿った対応には常に心がけています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	認知症は残念ながら進行する病気ですし年齢的に衰弱もしていきます。その為、介護度も変化しますし見極めも大切ですので、必要に応じてご家族に説明し、認定調査等行政と関わりを持ち、利用者の状態に応じた安全で安楽な生活が出来るよう支援していきます。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約に基づき利用者全員が往診医の診察を月2回受診している。状態悪化時はそれ以上の回数になることもあります。緊急性がある場合は往診医や消防署に連絡し救急搬送し、適切な医療の提供ができるように心がけています。	かかりつけ医の継続は可能であり、受診の際は家族対応が基本ではあるが職員が同行することもできる。協力医療機関とは 24時間 365日連絡が取れるように対応され、緊急時でも医療の情報を病院へ提供できるように日頃から情報を更新をされている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が常勤でいますので、利用者に変化があった場合は協力医療機関と連携し適切な医療が受診出来るように迅速に対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	看護師が入院した利用者の状態を最低1週間に1回程度は確認し、情報収集に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に十分な説明を行い看取りの同意を得ていますが、状態が悪化した場合には再度ご家族に終末期についての対応を確認し、往診医、医療機関と緊密に連携してご家族の希望に添うように最善を尽くしていきます。	契約時より終末期の意向を確認し、看取り期を迎えると協力医療機関や家族を交え方向性を話し合われる。事業所には、看護師が配置されており、法人内の訪問看護を利用することも可能となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師常駐の為、急変時、アクシデント等について対応は出来ませんが、施設でできる看護の提供について限界はあります。事故を含めてマニュアルに沿った初期対応は迅速に実践できると思います。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	BCP(事業継続計画)に沿って研修会や訓練を実施し職員全員に周知徹底をしています。	消防訓練以外にも、発電機の使用方法や感染時の対応の訓練などを実施されている。非常口に簡易のスロープが設置されており、今後スロープの工事が予定されている。しかし、地域住民へ訓練参加の依頼や案内ができていない。	職員だけでの避難誘導の限界を踏まえ、運営推進会議等で地域の方に案内を行い、訓練への協力体制の構築を期待したい。

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様には常に優しく、寄り添う姿勢で接しています。又、個人情報保護について指定権者より適切に対応するように指導されることもありましたが、個人の不利益にならないように研修会を行い周知徹底を図っています。	接遇は動画の研修などを行い、事業所 全体が接遇に関する意識が高く落ち着いた環境を提供されている。また、入居者が生活を自己決定できるように促され、日中は居室やリビングなど自由な生活ができるように支援されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	共有スペースでの生活を行っておりますので適宜、利用者様の思いに即して介護できていると思います。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりに応じて日々の生活を行うように実践しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理髪時に笑顔があつたり、外出時に着替えたりと利用者個人に合わせて必要に応じた支援をしています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しみにされている利用者が多く、嗜好品や季節の食材を用いて調理しています。準備及び片付けについては現在出来る利用者がいない為一緒に出来ていませんが、出来る利用者がいらっしゃる時は自由意志に任せて尊重していきます。	食事は、代表者の想いで職員がメニューを考え手作りで提供をされている。採血時のデータを医師が確認し、栄養管理に努められている。栄養状態の改善が必要な方に関しては、流動食を提供されることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の病気や症状を理解し、又、体格に応じたり咀嚼や嚥下の能力に合わせて家庭で提供出来るような食事を提供しています。水分摂取についても適宜行っています。まずは、採血のデータや発熱も参考にサポートしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアを実践し、就寝時は義歯のある方は洗浄剤に浸けて義歯洗浄しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導を必ず行い出来る限りトイレ内で排泄を試みたり、尿意、便意を発言された利用者については迅速に対応しています。便秘時には個人差がありますが時間帯にて10分ほど座位にしておくことと排便される利用者もいますので、排泄パターンを念頭に行っている方もいますし、下肢筋力が弱く夜間の頻尿時も失敗せず安心して近くのトイレで出来るようにポータブルトイレを設置するなど必要に応じて支援しています。	トイレ誘導を基本と考え、夜間帯はポータブルトイレを使用する場合もある。排泄パターンを把握するだけではなく、水分摂取量を確認し時間帯で誘導するなど自立支援に向けた取り組みが行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	特に水分量を多く摂取して頂くようにしています。薬剤によっては副作用により便秘になったりしますので、緩下剤を使用したりマッサージするなど苦痛のないように腹部症状を確認しながら日々の状態を確認しています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	月曜日、水曜日、金曜日の午前中に実施しています。一人一人の希望には即していませんが利用者様の中には入浴日を楽しみにされている方もいます。項目のように個々に合わせての入浴は出来ていないのが現状です。又、皮膚状態が悪化したり失禁がある場合は必要に応じてシャワー浴を実施しています。	週に3回の入浴が基本となっており、身体状況などによりシャワー浴での入浴となる場合がある。入浴の際には、外傷や皮膚トラブルがないか確認し、健康管理に努められている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に応じて休息をして頂いたり、なかなか入眠が出来ず辛そうな状態の利用者様が居る時は往診医に相談し薬剤を調整して頂くように依頼しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は人それぞれ違う為、誤薬によっては身体への影響は十分に考えられます。その為、与薬には十分に留意するようにしております。もちろん、薬剤の理解をした上で与薬介助をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に応じて近隣ではありますが外出したり施設内では行事の度にレクリエーション、食事の提供を実践しています。皆さん笑顔もあるため楽しんでいただいていると考えます。通常時は塗り絵や童謡の合唱をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとの外出は近隣ではありますが行っています。職員数にも限りがあり介護度も増してきていますので個人の希望に添うことには限界がありますが、その時にはご家族に要望を伝えるようにしています。	花見や正月には、近隣の神社に行くなど感染予防に努め外出を支援されている。外出の際には人員を調整し安全に外出できるように支援されている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金管理については当施設において行っておりません。必要に応じてご家族にご購入を依頼しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて家族に連絡したりしておりますが、手紙など書く能力が病気によってできませんので、職員を介して利用者のご意向を連絡させていただいています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やフロアには季節によって花壇に咲いている花を飾ったり、月ごとにポスター掲示をするなど季節感を取り入れています。台所は調理しているところを見られるようにオープンになっており、その料理の匂いにより利用者様には嗜好品を楽しみに待たれていることも度々あります。廊下、浴室、トイレについては障害物がないようにしておりますし、都度、汚れている時はすぐに掃除をする等、対策はとっております。温度、湿度管理を午前、午後に確認し、管理日誌に記録することで職員は意識的に空調管理するように致しております。採光も基本的には職員が行っておりますが、人それぞれ感じ方が違いますので、天気や利用者様のご意見によって調整させていただいております。	天井が高く開放的な空間で、リビングでは入居者がコミュニケーションを図り、自由に生活をされている。職員の接遇が良く、落ち着いた家庭的な環境を提供されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の居室、フロアにて利用者様同士が会話していたり、上手く会話が出来ない利用者には職員が介入し、思いを寄せる介護の取り組みを行っています。		

自己	外部	項 目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、利用者が家で使用していた道具や飾り物などを持参して頂き、家庭的な雰囲気の中で生活できるような居室を提供しています。	居室にはベッド、エアコン、クローゼットが設置されており、家電や家具は自由に持ち込むことができる。実際に、ソファやテレビを持ち込まれているケースもある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	病院では危機を回避するために抑制をされていた利用者様もいましたが、当施設では拘束は致しません。利用者自身の能力とご家族の理解があつてこそ出来る事が尊重されます。十分な説明を行い独歩まで回復された利用者もいますので、安全を過度に意識するというよりはご家族の理解を得て利用者の自立の尊重を実践しています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない